＿＿＿＿期　学級活動改善のための振り返り（学級担任用）

担任学級

評価期間　　年　　月　　日～　　年　　月　　日

評　　価　　A：良くあてはまる　B：あてはまる　C：あまりあてはまらない　D：あてはまらない

	項　　目	自己評価
学級活動全般	1　学校で定めた特別活動及び学級活動の重点目標や指導方針に則って学級活動の指導に当たった。	A B C D
	2　学級の実態に即して担任が定めた学級活動の重点目標・指導計画等は適切だった。	A B C D
	3　個々の生徒についての理解を深め、教師と生徒、生徒相互の信頼関係を育んだ。	A B C D
	4　いじめの防止を含む生徒指導との関連を十分に図りながら学級活動の指導に当たった。	A B C D
	5　学級活動の指導を通して、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現した。	A B C D
	6　自分たちできまりをつくって守るなど、自発的、自治的な活動を効果的に展開させた。	A B C D
	7　学級集団への指導とともに、個別の教育相談や各家庭との連絡にも力を入れた。	A B C D
	8　障害のある生徒などについては、その困難さに応じて、計画的・組織的に指導の工夫を行った。	A B C D
集団生活	1　小学校での話し合いや合意形成の経験や積み重ねを具体的に把握し、接続・発展を工夫をした。	A B C D
	2　集団生活上の課題や人間関係の課題について話し合い、合意形成し、解決するよう指導した。	A B C D
	3　学校生活向上のため、生徒会活動などについて学級として提案を行わせるなどの指導をした。	A B C D
	4　学校行事などの向上を図るために学級としての取り組みを話し合わせ、実践させた。	A B C D
	5　家庭や地域との連携を工夫し、その協力を得て学級活動を充実させた。	A B C D
適応・成長	1　多様な個性や考えを理解し尊重し合うように指導し、よりよい学級集団をつくった。	A B C D
	2　男女相互に理解し尊重し合い、共に協力して充実した生活づくりに参画するよう指導した。	A B C D
	3　思春期の特徴について理解させ、不安や悩みを乗り越えて、適切に行動するよう指導した。	A B C D
	4　節度ある生活によって健康を増進し、事件、事故、災害等から身を守れるよう指導した。	A B C D
	5　成長や健康管理を意識し、望ましい食習慣を身につけるよう指導した。	A B C D
	6　昼食の時間を、より良い人間関係を作る場面と捉え、そのための雰囲気づくりを工夫した。	A B C D
自己実現	1　自己実現との関係で学習や労働の意義を理解させ、主体的な学習態度の形成を図った。	A B C D
	2　社会生活のマナー、ルール、社会貢献、働くことなどについて考えて行動するよう指導した。	A B C D
	3　生活や進路についての課題を見いだし、解決するために話し合い、意思決定し、実践させた。	A B C D
	4　目標をもって進路等に関する情報を収集し、個性や興味・関心と照らして考えるよう指導した。	A B C D
	5　生徒一人ひとりが活動の記録を蓄積し振り返ることができるよう、教材を工夫した。	A B C D
	6　自主的に学習する場として、学校図書館等を活用させた。	A B C D

その他	ワーク・ライフバランスに留意して私的生活を充実させ、豊かな気持ちで学級活動を指導した。	A B C D